



本山歯科 訪問歯科ニュース

この訪問歯科ニュースは、訪問歯科診療をもっと多くの方に知っていただき健康になっていただくために、本山歯科医院が発行しています。

2017/12
No.129



今月のトピック

『安全な食事介助』

こんにちは。ケアマネージャーさんや訪問看護師さんとの窓口をしております橋本です。
今月は『安全な食事介助』についてお知らせしたいと思います。

意識レベルが低下した高齢者に、安全に食事をしてもらうためには、まず意識をはっきりさせて体を完全に目覚めさせる必要があります。

「食事ができました」などと声をかけ、返事がくるのを待ってみましょう。その後、少し会話をして、脳が完全に目覚めているのを確認できれば万全です。

動ける人には、ベッドから食卓に移動してもらったり、寝ていた人にはしばらく座っててもらったりと、体を動かすようにすることで一層意識がはっきりします。食事の前にこのように五感に訴えて、意識を呼び覚ましましょう。

●一番危険なひとくち目

食事を誤嚥する危険性が一番高いのが「ひとくち目」です。目覚めていても、ひとくち目はまだ「食事を始める準備体操」と考え、飲み込みやすいもの（ゼラチンゼリーなど）を食べて、口を慣らしてください。

●安全な食事介助のポイント

- ①介助者は、介助される人と同じ目線になるように座ってください。立った位置からスプーンを出すと、介助される人の顔を上に向かせてしまい、誤嚥する危険があるからです。
- ②口の中に1回に入れる量は、ティースプーン1杯ずつくらいが適量です。
- ③口の中にスプーンを入れたら、すぐに抜かず、捕食行為（食べていいものかどうかを判断し、食べ物に食いつくこと）が感じられてから、スプーンを抜いてください。
- ④食べ物を嚥下するときは必ず口を閉じて喉頭が挙上する（喉仏が上がる）のを確認してから次のスプーンを入れてください。
- ⑤ごはんやパンなどの固形物を口に入れたら一度しっかり飲み込んで頂き、その後お茶、水など水分を口に入れてください。

水分でむせやすい場合は、ゼラチンゼリーで代用しましょう。（交互嚥下）

★現在FAXにて送信しております「診療情報提供書」「訪問歯科ニュース」はメールでもお届けすることができます。メールですとデータの保管・管理が便利です。ご希望の方は以下のアドレスにお知らせ下さい。



info@motoyama-shika.com

★「ご担当ケアマネージャー様に変更になる場合」や「事業所様の変更がある場合」にはご一報下さい！

★歯医者に通えないお困りの方ご相談ください！虫歯治療、義歯作製・調整、口腔ケア、嚥下訓練
診療時間：月曜～土曜 / 9:00～17:00頃まで。日曜・祝日休診

名古屋本院

診療エリア

名古屋市(南区・緑区以外)
春日井市、北名古屋市、清須市、
尾張旭市、長久手市 その他

TEL 0120-814-004 FAX 0120-25-3418
名古屋市千種区四谷通1-6-1 脇田ビル2階



大府診療所

診療エリア

大府市、東海市、豊明市、
名古屋市南区、名古屋市緑区、
東浦町、刈谷市(一部) その他

TEL/FAX 0562-85-9994
大府市中央町6-73 ファミリーおおぶ1階

ホームページ： <http://www.motoyama-shika.com/>

